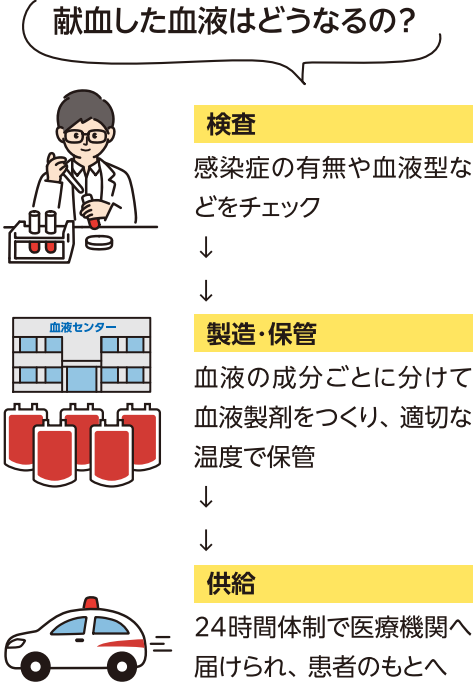




ここで献血ができます！

- 和歌山駅前献血ルーム
- 県内各地を巡る献血バス

詳細はこちら



いのちを救うために

献血 私たちにできること

やくむか 薬務課
☎073-441-2661
FAX073-433-7118

病気の治療や手術などで輸血が必要な方の命を救う「献血」。しかし日本では、30代以下の若年層の献血者数が10年間（2015～2024年度）で2割以上も減るなど、若年層の「献血離れ」が続いています。安定した血液供給を続けていくには、若い世代の皆さんの力も必要です。献血へのご協力をお願いします。

若年層の献血を増やすために

学校での献血学習の機会を県で設けているほか、有志の学生たちが啓発活動を行っています。

高校生等献血学習

献血への理解を深め、実際の献血につなげることを目的に、県内の学生に向けて「血液と命の尊さ」や「献血の大切さ」を伝える授業を行っています。



講義形式だけでなく、歌を取り入れた個性ある授業を行うことも

和歌山県学生献血推進協議会

「和歌山県学生献血推進協議会」は、県内の大学生等が中心となり、若年層に向けて献血の啓発活動を行う団体です。定期的に県内各地で献血への理解と協力を呼びかけ、献血の必要性を多くの人に伝えています。



イベント会場での啓発活動

メンバー募集中！

県内に通学または在学の学生なら誰でも参加できます。

詳細はこちら



僕が初めて献血に行ったのは、高校の先生が献血について教えてくれたことがきっかけでした。ですが若い人ほど、自分が輸血を受けるような大きな病気やけがにかかることも少なく、献血を身近に感じにくいのではないかと思います。そのため、まずは皆さんに献血のことを知ってほしい興味を持ってほしいという思いを込めて、啓発活動を行っています。

献血は「条件が合えば誰でもできる、参加のハードルが低いボランティア」だと思います。個人や献血量によって所要時間に差はありますが、早ければ受付から終了まで30～40分程で終わります。ぜひ多くの方に献血に来てほしいです！

インタビュー



和歌山県学生献血推進協議会
会長 本多 叶幸 さん

今日からできる「上手な医療のかかり方」



上手に医療にかかる、自身の金銭的・時間的な負担が軽くなるだけでなく、医療機関側の負担も軽減されます。限られた医療資源を有効活用し、皆が安心して医療を受けられるよう、「上手な医療のかかり方」を実践してみましょう。

こんなことしていませんか？

- 軽い気持ちで夜間や休日に救急外来を受診する
- 「何となく安心だから」と大きな病院を選ぶ
- 救急車をタクシー代わりに利用する



- 待ち時間が長くなる、医療費が高くなる
- 緊急度の高い患者の対応ができなくなる

医療機関選びで困ったときは

和歌山県救急医療情報センター(毎日24時間)

受診できる医療機関を案内します。

☎ 073-426-1199

わかやま医療情報ネット

医療機関の情報を詳細に検索できます。



こどもの症状で困ったときは

こども救急相談ダイヤル(#8000)

対処方法を看護師等が助言します。

☎ #8000(プッシュ回線・携帯電話)

073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

平日19:00～翌朝9:00

土日祝日・12月29日～1月3日 9:00～翌朝9:00



かかりつけ医とは…自分の健康のことを何でも相談でき、必要ときは専門の医師や医療機関を紹介してくれる身近な医師のこと。1人に決める必要はなく、信頼できる医師を自分で選びます。

やってみよう、人生会議



「人生会議」とは、人生の最終段階に自身が望む医療やケアについて考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組のことです。

誰でもいつでも、命にかかわる病気やけがをする可能性があり、もし命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療やケアのことを自分で決めたり伝えたりできなくなるといわれています。

最後まで自分らしく生きるために、心や時間にゆとりがあるうちから、人生会議を始めてみませんか。

啓発物資(例)



自分と家族の情報を記入する「もしもノート」



リーフレット

人生会議の普及に向け、出前講座を行っています。講座では啓発物資も配布しますので、受講をご希望の方はWEBサイトよりお申し込みください。